

令和3年6月10日開催

本会議は、Web会議システムにより開催した。

<発言者>

<項目・内容>

委員

1 公安委員挨拶

「スポーツ界で10代や20代前半の選手が世界に羽ばたく姿をテレビで目にする。最近では全米女子オープンを制覇したゴルフの笹生優花、年収60億円とも言われるテニスの大坂なおみ、そして100mで9秒95の日本新記録を出した陸上の山縣亮太。これらの方を見ると、幼少からの英才教育が実を結んでいるように思う。

そのことを警察で置き換えてみると、採用当初の警察学校では警察行政をしっかり学ぶとともに、皆さんのこれまでの経験、生き方を若手に教え伝えていくことが重要だ。

テレビでは警察官が逃走する犯人を追いかける場面もよく見る。警察学校では体力の強化に努めていると思うが、警察学校卒業後も各種事案に対応できる身体づくり・筋力アップも必要と感じている。」旨の発言があった。

2 議題

警察本部

(1) 警察職員等の援助要求

警察職員等の援助要求について説明があり、原案のとおり決定した。

警察本部

(2) 公安委員会宛て苦情の申出

公安委員会宛て苦情の申出について説明があり、原案のとおり決定した。

3 報告

警察本部

(1) 廃棄物処理法違反被疑者の逮捕

「被疑者Aは産業廃棄物処理業の許可を受けていない被疑者Bに対して産業廃棄物の処理を委託し、被疑者B及び同じく産業廃棄物処理業の許可を受けていない被疑者Cがその処理を受託。更に被疑者Cと被疑者Dは共謀の上、産業廃棄物合計1.3トンを松江市内の空き地に不法投棄したものである。令和3年5月18日及び5月28日に、廃棄物の処理及び清掃に関する法律違反で通常逮捕した。」旨の報告があった。

委員

[意見]「廃棄にかかる費用を浮かせることが不法投棄の動機だと思う。引き続きよろしく願います。」

委員

[意見]「環境問題は重要な問題であり、しっかりとしたパトロールによって被疑者の逮捕につながって良かった。これからもよろ

しく願います。」

(2) 反則金の支払方法の拡大

警 察 本 部

交通反則切符の反則金の納付について、現行の納付書による現金納付に加えてATMやインターネットバンキングから島根県警察本部の反則金収納専用口座に振込納付を可能とする。運用開始は令和3年6月28日からである。県警察における反則金収納の流れは、県警本部において反則金収納専用の口座を開設、領収した反則金を歳入代理店へ払込み、違反情報と納付情報（入金明細）の突合による納付確認である。反則金収納専用口座となる金融機関は、山陰合同銀行県庁支店、口座名は島根県警察専用反則金である。振込手数料は振込者の負担となる。」旨の報告があった。

委 員

[意見]「時代に沿った支払方法でメリットが多いと思う。適正に進めてほしい。」

委 員

[意見]「インターネットを活用して支払いができるようになることは、時代に沿ったやり方で良いと思う。」

3 総括

本 部 長

「反則金の支払方法拡大については、インターネットでの支払環境等を国全体で整えていく方向性が出ている中、警察庁でも警察行政関連で国民の利便性を高めるための施策を速やかに講ずるよう検討されてきた。トラブルなく開始したいと思っている。」旨の発言があった。